

第2回 鹿島灘・外房の港湾における地震・津波対策検討会議 議事概要

日時：平成23年11月11日（金）10：00～12：00

場所：三の丸ホテル

○今回は、基本方針の骨子案や津波想定のためのシミュレーションの考え方について、事務局からの説明をもとに意見交換を行うとともに、地震・津波対策に関する課題及び対応策について議論を行った。

○各委員からは、以下のような議論があった。

- ・防災レベルを考える場合、あらゆる施設を防護することは困難であり、重要度に応じ、守るべきもの守らないものを区分けしていく必要がある。
- ・日本の基幹的物流ネットワークを保持するために、被災港湾のリダンダンシー機能は非常に重要な要素であり、「安全・安心な港湾」の国際発信にもつながると考える。
- ・東日本大震災では、常陸那珂港区や日立港区において、車輛火災などの大変な二次災害が生じた。基本方針策定にあたっては、二次災害対策も大切な論点である。
- ・本検討において一番重要なのは、L2津波が発生したらどのようなことが起こるのかをまず理解することであり、検討はそれを踏まえたものであるべき。

○本日の会議を踏まえ、鹿島灘・外房の地震・津波に係る課題・対応策の整理を行うとともに、地震・津波対策の基本方針の策定に向け検討を進めていく予定。